

## 山形美術館 平成24年度事業報告

### 概要

平成24年度の公益事業は、春に「風の画家 中島潔が描く“生命の無常と輝き”展」を皮切りに、山形にゆかりのある「近代洋画の開拓者 高橋由一展」、「琳派・若冲と雅の世界」、「若き画家たちのきらめき 信濃デッサン館名作展」、3県展など7つの企画展事業と、収蔵品によるテーマ展「吉野石膏コレクションのすべて」および常設展による収蔵品展事業、また美術に関する創作活動を行っている個人・団体に対する21の展示施設貸与事業を行った。さらに収蔵品館外貸出による他機関への協力、収蔵品の修復などを実施した。

これら公益事業関連の展覧会総入場者数は99,419人となった。昨年度89,513人と比較すると、企画展事業と収蔵品展事業で13,773人の増加、展示施設貸与事業で3,867人の減少、合計で9,906人の増加となった。

収益事業では、企画展に合わせた喫茶室のメニューの提供やミュージアムグッズ取扱商品の更新を実施した。

法人運営および施設管理では、2年後の開館50周年に向けた施設の検査および改修工事の計画立案を行なった。

### 1. 公益事業

#### ①企画展事業

山形県民はじめ広く美術愛好者に国内外の優れた美術作品および関連資料を鑑賞する機会を提供する事業を行った。

#### 4月12日—5月13日 京都清水寺成就院奉納襖絵 風の画家 中島潔が描く「生命の無常と輝き」展

「風の画家」として知られる中島潔が京都の清水寺成就院に奉納した46面の襖絵ほか、水彩や岩絵具による童画の代表作100点を展示し、長島潔の40年におよぶ画業をたどった。会期中5月5日に東北芸術工科大学の協力によるキッズ・ワークショップ「うみのおと さかなのきもち」を実施。襖絵と金子みすゞの詩をもとにレインスティックを制作し、五感による海の世界を体験した。故郷や母への追慕、命に対する畏怖の念を表現した作品は多くの来館者を魅了した。

#### 7月20日—8月26日 近代洋画の開拓者 高橋由一

近代洋画の開拓者として知られる高橋由一の初期から晩年までの作品104点と関連作品資料21点を紹介。重要文化財《花魁》や《蛙》をはじめ、山形県初代県令三島通庸の委嘱を受けて描いた《山形市街図》《栗子山隧道図》《三島県令道路改修記念画帖》など近代化していく山形の風景を描いた作品も多数展示した。7月28日に東京藝術大学大学美術館古田亮氏による記念講演、8月18日に担当学芸員によるギャラリートークを実施。日本最初の洋画家が取り組んだ油絵の緻密な描写と質感表現、そして洋画拡充への取り組みなどを多角的に探った。

#### 9月1日—9月17日 第67回山形県総合美術展

山形県の美術振興と美術家のレベル向上を目指して毎年開催している県内最大の公募展。日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門にあわせて700点が搬入された。福田千恵(日本画)、入江観(洋画)、池田宗弘(彫刻)、橋本明夫(工芸)の4氏によって厳正な審査が行なわれた。会場には、入賞・入選、審査員、委嘱、無鑑査の作品、さらに東北芸術工科大学教員の招待作品をあわせ494点を展示。複数の部門に出品する作家や、それぞれの素材を活かした作品が目立った。今年で54回となることも県展には、県内の園児、小中学生から13,579の応募があった。東京造形大学教授・小林貴史氏の審査による入賞・入選821点を展示。幅広い多くの県民を対象とし、秋の芸術シーズンの到来を感じさせる展覧会となった。

#### 9月22日—9月30日 第37回山形県総合書道展

第37回県書道展には、漢字・かな・調和体・近代詩文・少字数・刻字・篆刻の7部門に、高校生から90歳代までの幅広い年代の書家・書道家から、一般公募384点と役員および会友の384点をあわせ768点の作品が搬入された。県内の植松弘祥、荒木扁舟、鈴木千岳、青柳祥雲、平田羽山、植松龍祥、加藤松峰、我彦芳柳の8氏による審査の結果、県知事賞をはじめとする入賞13点、奨励賞15点、褒状30点と入選284点が厳正に選抜された。会場には入賞・入選作に審査員、役員、会友の書作を加え691点を展示。レベルの高い漢字作品、東日本大震災をテーマにした書や齋藤茂吉生誕130年を記念した書など、時勢を反映した多彩な作品が各部門に見られ、県内書壇の層の厚さがうかがわれた。

### 10月25日—11月25日 京都 細見美術館 琳派・若冲と雅の世界

京都 細見美術館が所蔵する日本美術美術作品 100 点を展示。依屋宗達が確立し、尾形光琳、酒井抱一、鈴木其一らが受け継いだ琳派、魅力あふれる独自の世界を描き出した伊藤若冲、重要文化財の羽黒鏡をはじめ、仏教美術や物語絵巻、調度品など多彩な作品を紹介した。10月25日は開展式の後、細見良行館長によるギャラリートーク、11月3日にも細見館長による記念講演会を実施し、作品の技法や見所について語った。日本美術の優美さ、繊細かつ大胆な感性を味わう機会とした。

### 12月13日—25年2月3日 若き画家たちのきらめき 信濃デッサン館名作展

信濃デッサン館(長野県上田市)が所蔵する作品を大規模に館外で展示する最初の機会として、村山槐多、関根正二ら大正から昭和初期に活躍し早世した画家の作品を中心に123点を展示。会期中の12月16日、1月20日、27日、2月3日に山形大学大学院地域教育文化研究科当館実習生によるギャラリートーク、1月14日に館主窪島誠一郎氏と当館館長加藤千明による対談、さらに12月23日「引っ掻いても絵が描けた!」、1月13日「自分だけの豆本作り」の教育普及事業を実施。青春の情熱にあふれる美術家たちの作品と表現のあり方を考える機会とした。

### 2月28日—3月24日 第47回山形県写真展

山形県内の写真愛好家を対象とする本展には、中学生から80歳代までの620人から2,274点の一般公募作品が搬入された。デジタルカメラによる作品が80パーセントとなった。2月16日と17日、昨年に引き続き写真家の立木義浩氏による公開審査を行なった。審査中の審査員のアドバイスは、近年カメラを手にしたアマチュアカメラマンの学びの場ともなっている。会場には、入賞12点、準入賞10点、努力賞11点、入選362点に審査員、無鑑査、本年度逝去した無鑑査の追悼作品を加えた425点を展示。山形のお祭りや四季の風景、何気ない日常のなかの驚きを感じさせる力作が並んだ。

## ②収蔵品展事業

山形美術館では、フランス近代美術、日本の美術、山形県関係美術を3本柱に美術作品および関連資料の収集と調査研究を進めている。これら収蔵品の一部を常設展示しているほか、24年度には以下のテーマ展を開催し、収蔵品を紹介した。

### 12月13日—25年2月3日 吉野石膏コレクションのすべて

吉野石膏株式会社と吉野石膏美術振興財団より当館に寄託されている絵画のうち、97点を展示。充実したコレクションの個々の作品を紹介すると同時に、印象派を中心に、ポスト印象派、エコール・ド・パリまでのフランス絵画の多彩な展開をたどることができた。

収蔵品展事業による、本年度新収蔵品は寄贈5件、寄託8件である。山形県出身の平田松堂、清野克巳、半田敬史郎の作品などを受贈。吉野石膏コレクションとして荻須高德と藤田嗣治作品8件を受託した。今期末での寄託品を除く収蔵品件数は、基本財産収蔵品の一般正味財産(購入)505件、指定正味財産(寄贈)989件、合計1,494件となった。

## ③展示施設貸与事業

美術に関する創作活動を行っている個人および団体に対し、当館の展示室と展示用備品を貸与する事業を行った。24年度は、春光会展、日展山形会展、山形県水彩画会展、北展、樺墨書院展、示現会山形展、毎日書道展東北山形展、山形市芸文協総合展、読売書法展東北展、墨華会書道展、山形大学造形芸術コース卒業修了制作展、山形デザイン専門学校卒業進級制作展、山形県健康福祉祭美術展など、21の展覧会を開催した。

## ④その他

収蔵品を活用した事業や指導、作品の修復措置など以下の事業を行った。

### 1. 収蔵品館外貸出による他機関への協力

「フランス絵画200年 光と風景」(香川県立ミュージアム)、「マルク・シャガール 愛をめぐる追想」(岡山県立美術館、岐阜県美術館)、「芭蕉 広がる世界、深まる心」(名古屋市博物館)、「江戸の旅 たどる道、えがかれる風景」(仙台市博物館)など、他機関の企画展に対し収蔵品貸出の協力を行った。

## 2. 山形大学院生の受け入れと指導

山形大学大学院地域教育文化研究科が外部機関と連携し実施する「文化コーディネート実習」のうち、造形コース専攻の学生 2 名を前期(のべ 10 日間)に受け入れ、信濃デッサン館名作展を主に調査・設営・教育普及活動について指導した。

## 3. 博物館実習生の受け入れと指導

東北芸術工科大学 5 名、宮城学院女子大学 1 名の 6 名を、企画展展示設営時(のべ 5 日間)に受け入れ、作品展示の方法、美術館の機能と業務概要、資料の保存管理、地域における美術館のあり方などについて指導した。

## 4. 美術教育普及活動への協力

やまがたアートライン実行委員会が主催する夏休み子どもミュージアムめぐり事業の一環として、8 月 4 日と 11 日に「夏休みミュージアム・ツアー 2012」を実施し、参加者に美術館の役割を解説。また山形青年会議所が平成 18 年度から開始した「チルドレンズ・アート・ミュージアム」を 10 月 2 日に実施。参加した子どもたちがアートナビゲーターらの指導のもと、美術鑑賞のマナーと絵の見方を体験した。また、来館の児童生徒団体が希望がある場合、館概要や作品解説を適宜行なった。

## 5. 収蔵品の修復

桜井浜江の油彩画「花」(1956 年制作、1991 年収蔵、新海竹蔵のプラスチック素材の「M 嬢」(1963 年制作、1968 年収蔵)の 2 点の修復を実施した。東北芸術工科大学との共同調査に基づき、同校教員および同大文化財保存研究センター指導のもと、美術史・文化財保存修復学科学学生/研究員による修復処置を実施した。それぞれに作品の状態に最適な処置を検討実施し、作品本来の安定性と造形性を回復するとともに、作家の技法上の特質を理解する機会となった。

## 6. 有機 EL 照明の導入

山形県産業技術振興機構のコーディネートにより、2013 年 3 月、ロビーの一部に高演色タイプと調色可能なタイプの有機 EL パネル 2 種類を使った照明を設置した。作品劣化の原因となる紫外線と熱を発生せず、面発光による均一な光は、作品本来の色彩をより忠実に再現し、来館者の関心をひいていた。

## 2. 収益事業

来館者を対象に美術館における豊かな時間を過ごしてもらうため、山形城址が眺められる喫茶室で春の花見弁当など、季節や企画展にあわせたセットメニューを提供した。また美術関係の書籍やグッズを販売するコーナーにおいて、企画展の内容にふさわしい販売物や山形ゆかりの工芸作家作品を引き続いて取り扱った。

## 3. 法人運営および施設管理

展示室や収蔵庫の環境の維持と節電の実施、さらに外壁タイルの打診検査の結果を受けて 25 年度早期に改修工事を実施することなど、26 年度の開館 50 周年に向けた施設管理の計画立案を行なった。

## 4. 成果と課題

平成 24 年度も東日本大震災の影響が続き、美術館をとりまく環境は依然として厳しい状況であるが、企画展、収蔵品展の公益事業を当初の予定通り実施し、前述のとおり各事業の目的を達成することができた。

地域に根ざした美術館活動を進めるため前年度に掲げた課題(1:過去から現在に至る山形の美術を未来に継承するための収蔵品の充実、2:質の高い美術と出会う機会(展覧会)の提供、3:企画内容・対象者に応じた多様な教育普及事業、4:効果的な広報・宣伝、5:地域機関との連携強化)に応じた活動を目指し、なかでも企画展開催時のワークショップ等の教育普及、作品の修復・状態調査などを継続して行なった。今後も来館者のニーズを踏まえた美術館活動を着実に進めていきたい。

平成24年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[企画展]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
京都清水寺成就院奉納模写 風の画家 中島潔が描く 「生命の無常と輝き」展	4月12日～ 5月13日	18,504	541	601	2,949	22,595	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、県教 委、山形市、山形市教委、県 芸術文化会議、山形市芸術文 化協会、NHK山形放送局、 NHKサービスセンター、北法 相宗大本山 音羽山清水寺	4月12日の開展式では吉村美栄 子県知事、市川昭男山形市長の ほか中島潔氏、清水寺の森法務 部長が参加。中島潔氏のサイン 会も行われた。5月5日東北芸工 大の和田菜穂子准教授らによる キッズ・ワークショップ「うみ のおとさかなのきもち」開催。
近代洋画の開拓者 高橋由一	7月20日～ 8月26日	5,601	366	236	1,815	8,018	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、山形 市、日本写真印刷、あいおい ニッセイ同和損保、金刀比羅 宮、東京藝術大学大学院美術 研究科文化財保存学専攻保存 修復油画研究室	7月28日東京藝術大学大学美術 館准教授・古田亮氏による記念 講演会「道を拓いた画家 高橋 由一」開催。8月18日担当学芸 員によるギャラリートーク実 施。
第 67 回 山 形 県 総 合 美 術 展	9月1日～ 9月17日	4,365	243	841	2,488	7,937	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、市教 委、県美術連盟、県芸術文化 会議、県造形教育連盟、べん てる株式会社	福田千恵(日本画)、入江観(洋 画)、池田宗弘(彫刻)、橋本明夫 (工芸)の4氏による審査。こども 県展を併催。
第 37 回 山 形 県 総 合 書 道 展	9月22日～ 9月30日	371	13	25	1,528	1,937	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、県教 委、山形市、市教委、山形県 総合書道会、山形県書道連 盟、県芸術文化会議	植松弘祥、荒木扁舟、鈴木千 岳、青柳祥雲、平田羽山、植松 龍祥、加藤松峰、我彦芳柳ら8 氏による審査。
京都細見美術館 琳派・若冲と雅の世界	10月25日～ 11月25日	8,901	391	340	1,840	11,472	山美、山新、山放、細見美術 館、山形県、県生涯学習文化 財団、県教委、山形市、山形 市教委、県芸術文化会議、山 形市芸術文化協会	細見美術館の細見良行館長によ るギャラリートーク(10/25)記 念講演会(11/3)開催。
信濃デッサン館名作展 若き画家たちのきらめき 村山槐多、関根正二、 野田英夫、松本竣介…	12月13日～ 2月3日	1,273	69	47	784	2,173	山美、山新、山放、信濃デッ サン館、山形県、県生涯学習 文化財団、山形市	1月14日に信濃デッサン館館 主・窪島誠一郎氏と山美館長・ 加藤千明による対談「コレク ションの楽しみ」開催。その後 窪島氏のサイン会。2月3日にも 作品解説とサイン会が開かれ た。山大大学院地域教育文化研 究科によるギャラリートーク (12月26日、1月20日、27日、2月3 日)、ワークショップ(12月23日、 1月13日)実施。
吉野石膏コレクションの すべて	12月13日～ 2月3日	1,273	69	47	784	2,173	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、山形市	二階企画展示室と常設展示室を 使用して吉野石膏コレクション のほぼすべてを一室に展覧し た。
第 47 回 山 形 県 写 真 展	2月28日～ 3月24日	1,705	98	56	2,892	4,751	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、県教 委、山形市、市教委、山形県 写真連盟	立木義浩氏による公開審査。
企画展 計(A)		41,993	1,790	2,193	15,080	61,056		

平成24年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[収蔵品展など]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
常設展示のみ ・巨匠の広場 ・吉野石膏コレクション室 ・新海竹太郎/竹蔵彫刻室 ・長谷川コレクション室 ・彫刻の小部屋	4月1日～ 4月8日	105	8	10	43	166		
	5月15日～ 5月20日	82	8	99	21	210		
	5月23日～ 5月27日	333	7	14	402	756		
	5月23日～ 6月3日	2,052	6	-	770	2,828		
	6月5日～ 6月17日	227	6	454	61	748		
	6月23日～ 7月1日	850	15	58	820	1,743		
	7月4日～ 7月10日	102	5	4	19	130		
	7月11日～ 7月15日	305	6	5	937	1,253		
	10月2日	12	1	-	109	122		
	10月4日～ 10月8日	318	8	43	2,011	2,380		
	10月10日～ 10月14日	86	8	4	14	112		
	10月17日～ 10月21日	224	-	9	1,564	1,797		
	11月29日～ 12月9日	101	4	22	10	137		
	2月5日～ 2月24日	240	19	5	53	317		
3月28日～ 3月31日	89	2	3	11	105			
収蔵品展計(B)		5,126	103	730	6,845	12,804		

館主催展計(C=A+B)		47,119	1,893	2,923	21,925	73,860		
--------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

平成24年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[展示施設貸与事業など]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
春光会展	5月16日～ 5月20日	629	-	-	-	629	春光会	
山形県水彩画会展	5月23日～ 5月27日	333	7	14	402	756	山形県水彩画会	
日展山形会展	5月23日～ 6月3日	2,052	6	-	770	2,828	日展山形会、山形新聞・ 山形放送	
創琢書道展	6月7日～ 6月10日	645	-	-	-	645	創琢書道会	
北展	6月13日～ 6月17日	259	148	234	514	1,155	東北現代美術協会	
霄友会書道展	6月14日～ 6月17日	612	-	-	-	612	霄友会	
山形県民ふれあい書道展	6月23日～ 7月1日	850	15	58	820	1,743	山形県民書道会	
樺墨書院展	7月4日～ 7月8日	1,362	-	-	-	1,362	樺墨書院	
示現会山形展	7月11日～ 7月15日	305	6	5	937	1,253	示現会、示現会山形支部	
毎日書道展 東北山形展	10月4日～ 10月8日	318	8	43	2,011	2,380	毎日新聞社、毎日書道会	
北展(公募)	10月10日～ 10月14日	283	17	4	506	810	東北現代美術協会	
山形市芸文協 総合展覧会	10月10日～ 10月14日	3,246	-	-	-	3,246	山形市、市教委、市芸術 文化協会	
読売書法展 東北展	10月17日～ 10月21日	224	-	9	1,564	1,797	読売新聞社、読売書法会	
MOA美術館山形県 児童作品展	10月27日～ 10月28日	1,055	-	-	-	1,055	MOA美術館山形県児童作 品展実行委員会	
翔龍会全国書道展	11月8日～ 11月11日	390	-	-	-	390	翔龍会	
東邦書道会全国展	11月29日～ 12月2日	606	-	-	-	606	東邦書道会	
墨華会 書道展	12月6日～ 12月9日	1,122	-	-	-	1,122	墨華会	

平成24年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
山形大学造形芸術コース 卒業修了制作展	2月7日～ 2月11日	666	-	-	-	666	山形大学地域教育文化学部 文化創造学科造形芸術 コース	
誠筆書展	2月8日～ 2月11日	1,176	-	-	-	1,176	誠筆会	
山形デザイン専門学校 卒業進級制作展	2月20日～ 2月24日	551	-	-	-	551	山形デザイン専門学校	
山形県健康福祉祭 美術展	2月21日～ 2月24日	777	-	-	-	777	山形県、山形県社会福祉 協議会、山形県老人クラ ブ連合会	
展示施設貸与事業計 (D)		17,461	207	367	7,524	25,559		

全展覧会 総計 (E=C+D)		64,580	2,100	3,290	29,449	99,419		
--------------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

## 平成 24 年度新収蔵品リスト

平成 25 年 3 月 31 日現在

### ○寄贈

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
平 田 松 堂	花 瓶 と 林 檜		紙本・着色	51.0×55.5
清 野 克 巳	孤 独 な 男 の 踊 り No.1	1964	紙・版画、着色	57.5×40.5
清 野 克 巳	北 国 ～ 円	1985	紙・スクリーンプリント	76.6×54.2
清 野 克 巳	蹄 の 音		紙・銅版画	23.5×16.0
半 田 敬 史 郎	鳥 の 棲 む 樹	1995	紙・エッチング、ソフトグラウンド、アクアチント、雁皮刷り、ジンク版3版	54.9×30.2

※以上の美術品 5 件を基本財産収蔵品(不可欠特定財産)とする。

### ○寄託

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
荻 須 高 徳	ガ レ ー ジ	1929-30	キャンヴァス・油彩	60.0×73.0
荻 須 高 徳	古 道 具 屋	1950	キャンヴァス・油彩	73.2×92.0
藤 田 嗣 治	婦 人 と 老 婆	1952	紙・鉛筆	25.8×26.5
藤 田 嗣 治	横 向 き の 婦 人	1953	紙・鉛筆	31.9×22.8
藤 田 嗣 治	横 向 き の 婦 人	1959	紙・鉛筆	43.3×26.3
藤 田 嗣 治	オ デ ッ ト	1960	紙・鉛筆	48.6×31.9
藤 田 嗣 治	母 子		紙・鉛筆	43.8×27.3
藤 田 嗣 治	聖 母 子		紙・鉛筆	36.6×24.0

平成24年度収蔵品貸出一覧

作 者 名	作 品 名	借 受 館 又 は 借 受 者	貸 出 事 由	貸 出 期 間
椿 貞雄	牡丹花籠図	DIC川村記念美術館	FLOWERSCAPES フラワースケープ 画家たちと旅する花の世界	4/6-8/4
モネ ピカソ ほか	睡蓮 青い背景の婦人像 など11点	香川県立ミュージアム	フランス絵画200年 光と風景 ミレー、コローそして モネ、ルノワールへ	4/6-5/30
高橋由一	鮭 寒河江市隠像 山形県景観画集	東京藝術大学大学美術館 京都国立近代美術館 読売新聞社	近代洋画の開拓者 高橋由一	4/19-10/28
シャガール	ダフニスとクロエ	長崎県美術館 西日本新聞社	シャガール展2012 — 愛の物語 —	6/3-7/27
シャガール	バラ色の肘掛椅子 恋人たちと花束 花嫁の回想 など5点	岡山県立美術館 岐阜県美術館	マルク・シャガール — 愛をめぐる追想	7/7-11/4
葛飾北斎	北斎漫画 三編「鬼の塊り」 など5点	最上徳内記念館	江戸時代の妖怪展	7/25-8/30
ピカソ	青い背景の婦人像	浜松市美術館 秋田市立千秋美術館	ナント美術館名品展	8/22-12/18
歌川広重	湯殿山道中略図 (西方)	広重美術館	開館15周年記念展 [山形・天童]×[広重・浮世絵]	9/14-11/9
与謝蕪村 小野竹喬	奥の細道図屏風 (複製) 奥の細道句抄絵 (アダチ版画版)	名古屋市博物館	開館35周年記念展 芭蕉 — 広がる世界、深まる心 —	9/15-11/22
与謝蕪村 谷文晁	奥の細道図屏風 (原本) 熊野舟行図巻	仙台市博物館	江戸の旅 たどる道、えがかれる風景	9/15-11/22
松尾芭蕉	出羽三山巡拝句短冊	山寺芭蕉記念館	芭蕉から蕪村へ	9/20-11/22
葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	町田市立国際版画美術館	開館25周年記念展 北斎と広重 きそいあう江戸の風景	9/28-12/2

平成 24 年度収蔵品貸出一覧

作 者 名	作 品 名	借 受 館 又 は 借 受 者	貸 出 事 由	貸 出 期 間
土 田 文 雄 高 瀬 捷 三 為 本 自 治 雄 ほ か	座 像 磯 の 幻 想 カ フ ェ ー 小 景 な ど 7 点	米 沢 市 上 杉 博 物 館	美 の 系 譜 国 画 会 に み る 山 形 ゆ か り の 美 術	10/1-12/14
円 山 応 挙	雪 中 竹 梅 狗 子 之 図	府 中 市 美 術 館	か わ い い 江 戸 絵 画	2/26-5/10